



### 実りの二学期に

生徒たちの元気な声が校舎に戻ってきました。猛暑と言われる日が何日もありましたが、学習や部活動等に精を出した皆さんが多かったと思います。水やり草取りなどの環境整備作業に来てくれた皆さんもご苦労様でした。

さて、いよいよ二学期がスタートし、それぞれの取り組みに一学期に負けない力を注いでいって欲しいと思います。

#### ◆二学期始業式 校長講話

「君達は修復する力を持っている」より ～抜粋～

学校は大勢の生徒が学ぶ場所なので、仲間の中でのトラブルが発生し対立が起こることがあります。一学期にもいくつかそのようなことがあり、私自身学んだこともあります。

その仲間は、ちょっとしたことから互いに口も聞かず無視をする日が続きました。しかし「相手が悪いからこうなるんだ」と不満を持つ一方で無視し合うことは辛いことで、このままの状態ではいいのかと自分自身への疑問が生まれます。悩んだ末に「いつまでも相手のせいにしていたら終わらない」と気づきます。そして一歩踏み出すことを決断し実行したのです。朝行き会ったときの「おはよう」の一言。顔を合わせたときの「ごめんね」の一言。「このままではいけない」と自分を正しく見つめる思いがあったからこそ一歩進むことができました。

これは、仲間関係のトラブルを乗り越えようとする心の成長です。中学生の君達は人間関係を修復する力を持っている。やり直す力を持っているということです。正しい考で一歩踏み出す行動が状況を変えることができるんだということを、この生徒達から学んだ気がします。



宮澤章二さんの「行為と意味」いう詩を紹介し（ここでは紙面の都合で抜粋）。トラブルを乗り越えようと一歩踏み出した生徒から学んだことをお話ししました。

確かに〈こころ〉は誰にも見えない  
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ  
それは人に対する積極的な行為だから  
同様に胸の内の〈思い〉は見えない  
けれど〈思いやり〉は誰にでも見える  
それも人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心があたたかい行為になり  
やさしい思いがやさしい行為になるとき  
心も思いも初めて美しく生きる  
それは 人が人として生きることだ

### 交通安全の意識をあらたに

夏休み中も長野県内では児童生徒が被害に遭う事故が多発しました。

7月31日 伊那市の市道で14歳の少年が乗った自転車が道路を横断しようとしたところ中型貨物車と衝突し、少年が腕の骨を骨折する怪我を負う事故が発生。

7月31日 須坂市の国道交差点で軽四貨物車と14歳少女が乗った自転車が出会い頭に衝突し、少女は全身を強く打って意識不明の重体となる事故が発生。

8月7日 長野市の国道交差点で大型貨物車が左折の際、横断歩道を進行した14歳の少女に衝突し、少女は収容先の病院で亡くなる事故が発生。

交通事故の未然防止についてあらためて、学校から、また、ご家庭から注意を行っていく必要があると思います。

- (1) 自転車の乗るときは必ずヘルメットを着用する。
- (2) 交差点や見通しの悪い道路での一時停止の徹底。  
(青信号だから・横断歩道だから安全とは限らない)
- (3) 道路への飛び出し、横断歩道以外の横断はしない。

### 新任職員の紹介

3学年副任の中島茂先生(理科)が、一学期末から体調を崩されてしばらくの間入院加療となりました。そこで2学期から、中島先生が戻られるまでの期間、坂田裕紀先生(写真)に理科を教えていただくことになりました。また、進路については、本校在籍で中間教室指導の太田研壺先生に、中間教室は支援員の高坂陽子先生がしばらく担当するよう、校内での配置替えを行いましたのでご承知下さい。



### 部活動の歩み

- 北信越大会 水泳 小林 輝 11位  
バドミントン 高橋優斗・横田和樹ペア ベスト8  
酒井 優 ベスト8 栗原 萌 ベスト16
- 吹奏楽 地区大会 金賞 県大会 銀賞
- 合唱 地区大会 銅賞 それぞれ苦労様でした☆